

気候情報

2018年12月の日本の天候

- 沖縄・奄美は、気温がかなり高かった
- 北日本日本海側と東日本太平洋側および西日本は、日照時間がかなり少なかった
- 月末は、北・東日本日本海側を中心に暴風雪や大雪となった

12月の天気概況

寒気の南下が弱く暖かい空気に覆われる日が多かったため、沖縄・奄美は気温がかなり高く、東・西日本も高かった。4日は日本海の低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んで全国的に季節外れの暖かさになり、全国の観測点926地点のうち352地点で12月として最も高い気温を観測したほか、沖縄・奄美や西日本を中心に66地点で夏日になった。

上旬：東・西日本と沖縄・奄美は旬の中頃にかけて気温の高い日が続いて旬平均気温がかなり高くなった。北日本は寒暖の変動が大きく、旬平均気温は平年並だった。旬の終わりは強い寒気が流れ込んだため、北～西日本は低温となったほか、北日本日本海側では大雪になった所もあった。

旬平均気温は、北日本で平年並のほかはかなり高かった。

旬降水量は、東日本で平年並のほかは多かった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側と西日本ではかなり少なく、東日本日本海側と沖縄・奄美でも少なかった。北日本は平年並だった。

中旬：西日本太平洋側は低気圧や前線の影響を頻繁に受けたため、降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった。東日本太平洋側でも降水量がかなり多く、日照時間が少なかった。全国的に、寒気が流れ込んで低温になった日もあった。一方、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込むことなどにより顕著な高温になった日もあり、寒暖の変動が大きかった。

旬平均気温は、全国的に平年並だった。

旬降水量は、東・西日本太平洋側ではかなり多く、北・西日本日本海側でも多かった。一方、沖縄・奄美は少なく、北日本太平洋側と東日本日本海側は平年並だった。

旬間日照時間は、西日本太平洋側ではかなり少なく、東日本太平洋側と西日本日本海側でも少なかった。一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美は多く、北・東日本日本海側は平年並だった。

下旬：低気圧や前線の影響で、21日は西日本太平洋側で、22日は東日本太平洋側で大雨の所があった。また、暖かい空気に覆われて気温の高い日が全国的に多かった。後半は冬型の気圧配置が強まって強い寒気が流れ込み、27～30日は北・東日本日本海側を中心に暴風雪や大雪となった所があった。

旬平均気温は、沖縄・奄美で高かったほかは平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。北日本日本海側と東・西日本は平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側と東日本および沖縄・奄美では少なかった。一方、北日本太平洋側は多かった。西日本は平年並だった。

12月の気候統計

月平均気温：沖縄・奄美でかなり高く、東・西日本で高かった。北日本では平年並だった。

月降水量：北日本日本海側と西日本、沖縄・奄美で多かった。北日本太平洋側と東日本では平年並だった。

月間日照時間：北日本日本海側と東日本太平洋側、西日本でかなり少なく、東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

12月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
南大東島 21.4
- ・月降水量多い方から（mm）
三宅島 400.0
- ・月降水量少ない方から（mm）
父島 9.0
- ・月間日照時間少ない方から（h）
三島 112.2 石廊崎 137.2 など6地点

2018年12月の平年差（比）図

